

2020 年度秋学期 文学部横断型プログラム「プロジェクト・ゼミ」

芸術文化論コース

## 四谷キャンパスの地霊（ゲニウス・ロキ）

### キャンパスから大学を考える：都市論・文化論・建築論

開講時限 火曜日 5 限

担当 桑原 俊介先生（哲学科）

#### ～桑原先生からのメッセージ～

このゼミは、大学を「キャンパス」という視点から考えるゼミです。どの土地も固有の歴史をもち、幾層にも堆積した歴史的・文化的地層の上に息づいています。都市論ではその息遣いを「地霊（ゲニウス・ロキ）」と呼びます。

本ゼミでは、四谷キャンパスに宿る「地霊」を、都市論・文化論・建築論・地理学などの知見を駆使して学問的によみがえらせることを目指します。イメージとしては、四谷キャンパス版ブラタ〇リといったところでしょうか。問題は、たんなる歴史的事実の確認ではなく、その象徴的意味の表象論的考察です。

コロナ禍にあって、大学キャンパスの物理的空間としての意味や機能が、はからずも露呈してきています。今後の大学キャンパスのあり方の再考も含め、四谷キャンパスの地霊の息吹を、参加者全員で呼吸できればと考えています（なお、卒論執筆に支障を来さぬよう十分に配慮して授業を進めます）。